

アンダージュニアボクシング

実戦競技規則

1. 体重区分・ラウンド

※JJ規則の変更点

①10歳以上12歳以下である小学校5・6年生(男女同じ)

階級	体 重	ラウンド(ラウンド間の休憩1分)
31kg級	28kg超 31kgまで	1分30秒×3R
以下52kg級まで3kgおきの階級とする		1分30秒×3R
56kg級	52kg超 56kg迄	1分30秒×3R

②12歳以上15歳以下である中学校1・2・3年生(男女同じ)

クラス	体 重	ラウンド(ラウンド間の休憩1分)
33kg級	30kg超 33kgまで	2分×3R
以下60kgまで3kgおきの階級とする		2分×3R
64kg級	60kg超 64kgまで	2分×3R
以下72kgまで4kgおきの階級とする		2分×3R

<体重範囲の特例> ※JJ規則の変更点

全日本JJボクシング大会並びに全日本JJ王座決定戦について、日本連盟は都道府県選考会から全日本大会までの期間を考慮し、選手の過度な体重調整をなくすことを目的に、全日本大会のみ各階級の上限体重を1kgプラスして大会を開催することができる。

2. 用具

① バンテージ

原則として、シニア・ジュニア同様、5cm以下×2.5m以下とするが、3cm以上×1.7m以上である事。(日本ボクシング連盟の検定品である事)

② グローブ ※JJ規則の変更点

原則として10オンスとし、小学生の56kg級及び中学生の60kg級以上は12オンスとする。

③ ヘッドガード

S、M、Lサイズの内、各自の体格に合ったサイズの競技用ヘッドガードを着用する。(日本アマチュアボクシング連盟の検定品である事)※県予選でのヘッドガードについては県連盟のものを使用する。

④ ファールカップ

上記同様各自の体格に合ったサイズとする。(メーカーの指定はない)

⑤ チェストガード

幼年の発達状況及び各人の体格に合わせた適宜のチェストガード(胸パットを含む)とする。(メーカーの指定はない)※県予選でのチェストガードについては県連盟のものを使用する。

⑥ マウスピース

ジュニア・シニア同様、各自の歯形による適宜のマウスピースとする。赤いマウスピースは認めない。(メーカーの指定はない)

3. 健診項目

原則、ジュニア・シニアと同様であるが、下記の点が異なる。

①体温

男女とも37.5℃を上限の目安とする。

但し、37.8℃迄は医師の判断で出場可能とする。

②実戦競技については、頭部CTスキャンによるチェックをクリアしている事。

4. カウントリミット

レフリーストップのカウントリミットは次の通りとする。

- ① 小学生:1 ラウンド2 回、全ラウンド合計2 回
- ② 中学生:1 ラウンド2 回、全ラウンド合計3 回

以上